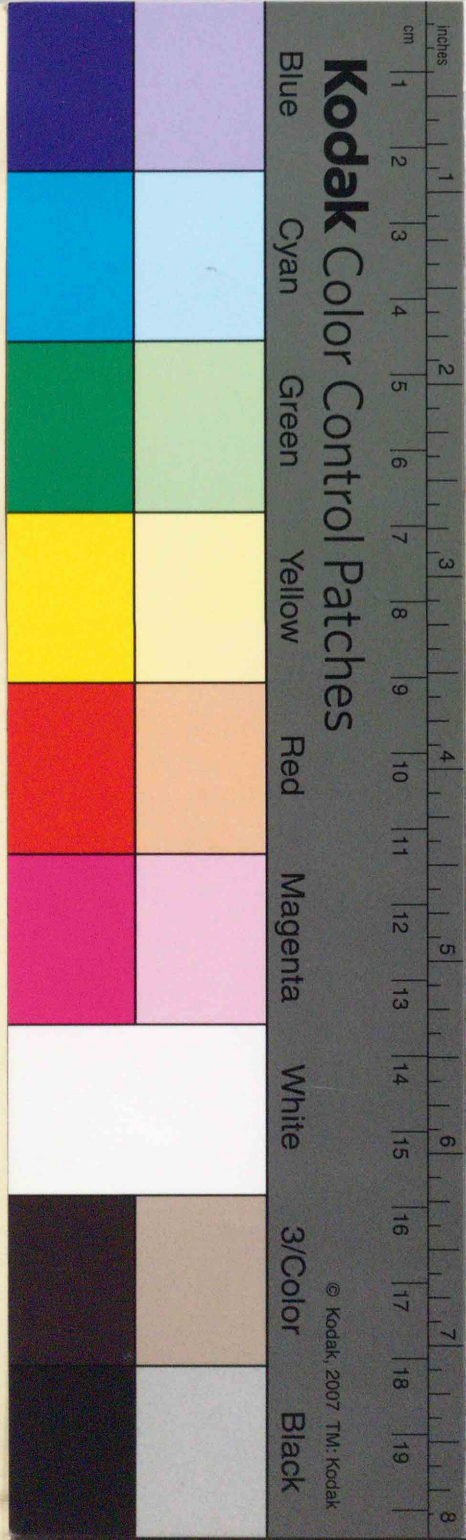


41020

教科書文庫

4
760
41-1929
01304 49389



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM. Kodak



中央図書館

広島大学図書

0130449389



教科書文庫

4

760

41-1929

0130449389

文部省検定済

昭和四年十一月十一日

中学校唱歌科

福井直秋編

中學唱歌讀本

二

広島大学図書

0130449389



は し が き

- 本書は、中學校の教科用に充てんがために編纂したものである。
- 本書の樂曲は、その過半は歐洲のものであり、その他は皆編纂者の作に係る。
- 當今の時世の趨向に鑑み、國民的情操の涵養に資すべき題材を比較的多く加へたのは、編纂者の特に意を用ひたところである。
- 歌と曲との調和は、もともと面倒な事柄であるとともに、又大切な事柄である。本書は之に就て相當な研究を重ねて成つたものである。
- 歌曲は教授上の便宜により、幾分之を加除し、或は他のも

のに改更されることもあるから、各巻末に五線紙を添へて、その用に供へたのである。

一 音楽通論は、中學校の第一二學年程度の唱歌を學習するに必要と認められた一斑を記述したのである。

昭和三年十月

編纂者しるす

(2)

み だ し

一 春.....	4	一一 月.....	24
二 ふ る さ と.....	6	一二 友 垣 う れ し.....	26
三 御代をことほげ.....	8	一三 入 營 を 送 る.....	28
四 曉 鶏.....	10	一四 馬 上 の 少 年.....	30
五 庭 の 訓.....	12	一五 わ が 大 君.....	32
六 海 邊 逍 遙.....	14	一六 今日も暮れゆく.....	34
七 燕.....	16	一七 我 は 男 の 子.....	36
八 樂 の 音.....	18	一八 親 の 恵.....	40
九 た そ が れ.....	20	一九 い ざ 起 て.....	42
一〇 師 の 教.....	22	二〇 春のよろこび.....	44

春

mf

1. ニ ホ ヘル キ グ サ ノ ハ ナ サ ヘ ツル ヒモ
 2. こ て ふ の ま ひ み ぶ の ベ か げ ろ ふ も

パ リ ノ コ エ イ マ コ ソ サ カ リ ノ ハ ル ミ コ
 え た つ の お い ま こ そ さ か り の は る

p *mf*

ル モ ノ キ ク モ ノ ノ ド ケ シ ト モ ヨ ト モ ヨ ノ
 こ ろ の う き た つ た の し さ き も よ き も よ の

ヤ マ ニ ユ キ ヒ ト ヒ ヲ タ ノ シ ク ア ソ パ ン
 や ま に ゆ き ひ み ひ を た の し く あ そ ば ん

(4)

春

文學士 藤田健治

句へる 木草の花

さへづる 雲雀のこゑ

今こそさかりの春

見るもの聞くもの のどけし

友よ 友よ 野山にゆき

一日をたのしく あそばん

(5)

胡蝶の舞ひとぶ野邊

かげろふもえたつ野路

今こそさかりの春

心のうきたつ たのしさ

友よ 友よ 野山にゆき

一日をたのしく あそばん

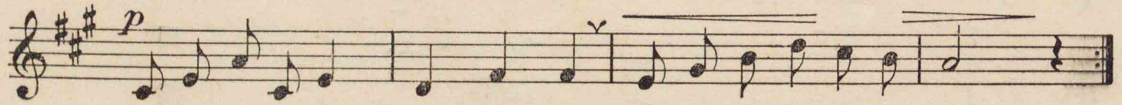
ふるさと



1. ウルハシノ カハヨ ヒイツルヤマ コ
 アサユフニ ナレテ シタシミクラ ス
 2. はやしなす そのよ こえたるはたよ
 あさゆふに なれて はたらきくらす



ハルノ サクラ アキーノ モミヂ
 なつの すずみ ふゆの ゐろり



フルサトノ ナガメ ナツカシユカシ
 ふるさとの いへは なつかしゆかし

(6)

ふるさと

文學士 守隨憲治

うるはしの河よ
 朝夕に馴れて

ひいづる山よ
 親しみくらす

春のさくら

秋の紅葉

ふるさとの眺望

なつかしゆかし

春のさくら

秋の紅葉

ふるさとの眺望

なつかしゆかし

二

林なす園よ

肥えたる畑よ

朝夕に馴れて

はたらき暮らす

夏の涼み

冬のゐろり

ふるさとの家は

なつかしゆかし

夏の涼み

冬のゐろり

ふるさとの家は

なつかしゆかし

(7)

御代をことほげ

1. カミ ノヒ ラキ タマヒ シミ クニ アメ がつ ひ
 2. ち い ほあ き の み づ ほ の く に は あ ま がつ ひ

タニ タグ ヒ ナ シ イ ザ タ ミ ヨ
 つ ー ぎ か ぎ り な し い ざ た み よ

クニ マモ レヤ サ カエ ゾト ハ ノ タ フ ト キ ク
 み よ を こ ミ ほ げ か し こ き き み の め で た き み

ニ ヲ コ ヨ トロ ホ ギ ア ガ け メ マ モ レ ヤ げ

御代をことほげ

文學士 堀江時三

神のひらき
 一 たまひし皇國

天が下に
 たぐひなし

いざ民よ
 國をまもれや

榮えぞとはの
 たふとき國を

ことほぎあがめ
 まもれや

千五百秋の

瑞穂の國は

二

天津日嗣

かぎりなし

いざ民よ

御代をことほげ

かしこき君の

めでたき御代を

萬代かけて
 ことほげ

曉 鶏

1. ア カ ツ キ ヤ ミ ヲ バ ヤ ブ リ テ ナ ク ニ
 2. あ か つ き つ げ つ つ は は た き な く に

cresc. *mf*

ハ ト リ イ サ マ シ ア サ ア サ ゴ ト キ イ
 は こ り い さ ま し あ さ あ さ こ こ

ソ ヒ テ ナ キ ア フ コ エ ゴ エ ヨ リ ヨ ー ル ソ ア ケ ユ ク
 の ら を た の し む も の み な お き き - よ き あ し た を

シ ラ ジ ラ ト ヨ ー ル ソ ア ケ ユ ク シ ラ ジ ラ ト
 ほ ぎ む か ふ き - よ き あ し た を ほ ぎ む か ふ

曉 鶏

文學士 牧

浩

あかつきやみをば
 にはとりいさまし

やぶりにて鳴く
 朝朝ごと

きそひて鳴きあふ

聲聲より

夜ぞ明けゆく

白じらと

夜ぞ明けゆく

白じらと

二

あかつき告げつつ

羽ばたき鳴く

にはとりいさまし

朝朝ごと

生命をたのしむ

物皆起き

清きあしたを

ほぎむかふ

清きあしたを

ほぎむかふ

庭の訓

mf

1. ミヲシヘハ タフトシ シバシタニ
 2. みをしへは かしこし こころして

cresc.

ワスレジ タユミナ クモ マナビテ
 ゆかばや ひかげをしみ はげみて

cresc. mf

ミヲモヨク ネリユカシ ミヲシヘハ
 ちははを なぐさめん みをしへは

タフトシ シバシタニ ワスレジ
 かしこし こころして ゆかばや

庭の訓

文學士 白澤 清人

一 庭訓は尊し

しばしだに忘れじ

たゆみなくも 學びて

身をもよく 練りゆかん

二 庭訓は尊し

しばしだに忘れじ

庭訓はかしこし

心してゆかばや

日かげをしみ 勵みて

父母を 慰めん

庭訓はかしこし

心してゆかばや

海邊逍遙

1. イ ソ ニ チ カ キ マ ツ バ ヤ シ ノ ス
 2. ま つ の し げ る す な ぢ ふ み て ス

ズ ろ ア ル キ コ コ チ ヨ シ ヤ
 マ ツ カ サ ア ラ キ エ ダ ニ カ
 い そ む ら な み に け む り し

カ ル ヤ オ キ ノ ツ リ フ ネ
 ら く も ミ ほ く た だ よ

海邊逍遙

文學士 吉丸一昌

磯に近き松林の

すずろあるきこちよしや

まつかさ青き枝に

かかるや沖のつりふね

まつかさ青き枝に

かかるや沖のつりふね

松の茂る砂地ふみて

すずろあるきこちよしや

磯村波にけむり

白雲とほくただよふ

磯村波にけむり

白雲とほくただよふ

燕

p *mf* *f* *mf* *poco rit*

1. コーヨ ヤ コーヨ ヤ ツバメ ツバメ コーヨ ヤ イ
 2. こーよ や こーよ や つばめ つばめ こーよ や な

ト シヅケキハ ルノア メ ワガ ノキバニケブルナリ ト
 ギ かぎベをゆ ききする もし ふるすやわすれつる す

ク サクーラニ ホーヒーテ ハヤ ハルモタ ケターリ
 み すてーしい まーしーが すは ここのの きーばーぞ

コーヨ ヤ コーヨ ヤ ツバメ ツバメ コーヨ ヤ
 こーよ や こーよ や つばめ つばめ こーよ や

燕

一
 來よや 來よや 燕 燕 來よや
 いと静けき春の雨
 我が檐端にけふるなり
 疾く櫻にほひて
 はや春も闌けたり
 來よや 來よや 燕 燕 來よや

二
 來よや 來よや 燕 燕 來よや
 など門邊を往來する
 もし古巢や忘れつる
 住み棄てし汝が
 巢は此處の檐端ぞ
 來よや 來よや 燕 燕 來よや

文學博士 藤村 作

樂の音

p *mf*

1. タヘナルガクノネマドニカヨフキ
 2. ゆかしきおもひはむねにひびく

ギズノハシツケキモリヲワタリホ
 シクヅウカベルミヅヲコエテタ
 点なくひろがるなみのごみくゆ

へナルガクノネマドニカヨフ
 かしきおもひはむねにひびく

樂の音

文學士 久松 潜 一

一
 たへなる樂の音

窓にかよふ

木木の葉しづけき

森をわたり

星くづ浮べる

水をこえて

二
 たへなる樂の音

窓にかよふ

ゆかしき思は

胸にひびく

梢にささやく

風のごとく

聲なくひろがる

波のごとく

ゆかしき思は

胸にひびく

たそがれ

1. ホノカニ クレユク シツケキ タソガ
 2. ゆふや み ほのめく やすけき たそが

レ アカシモチ トモサデ ーツクエペ
 れ ミもま ち かねて ぞ ーまじべ

ニ ヨリソと ツクツク ミノサ
 に よりそひ こよひの なたら

チ ー オモヒ テ ヨロコシ ブ
 ひ ー おもひ て たのしむ

たそがれ

文學士 守 隨 憲 治

ほのかに暮れゆく しづけきたそがれ

あかしもともさで 机によりそひ

つくづく身の幸 思ひてよろこぶ

夕やみほのめく やすけきたそがれ

友待ちかねてぞ 窓邊によりそひ

こよひのかたらひ おもひて楽しむ

師の教

mf

1. シ ノ キ ミ ノ フ シ ヘ ハ タ グ ヒ ナ ク タ フ ト
 2. あ け くれ に さ づ かる し の き み の を し へ

ア サ ユ フ ニ ウ ケ テ ツ ツ シ ミ テ マ モ ラ シ マ コ
 い つ の ひ か わ す れ み め ぐ み に そ む か ん や よ

cresc. *mf* *f*

ト ヤ シ ノ フ シ ヘ タ ダ シ ク マ モ リ ナ バ ユ ク
 こ も し の を し へ つ つ し み ま も り ゆ き そ ろ

cresc. *mf*

ス エ ヨ キ ヒ ト ト ナ ル コ ト フ ウ ベ シ ヤ
 ひ て よ き ひ こ こ なる こ こ を ち か は さん

師の教

文學士 中尾 茂

師の君の教は たぐひなくたふと
 朝夕にうけて つつしみて守らん

まことや師の教

ただしく守りなば

行末よき人と

なることを得べしや

二

明暮に授かる 師の君の教
 何時の日か忘れ みめぐみにそむかん

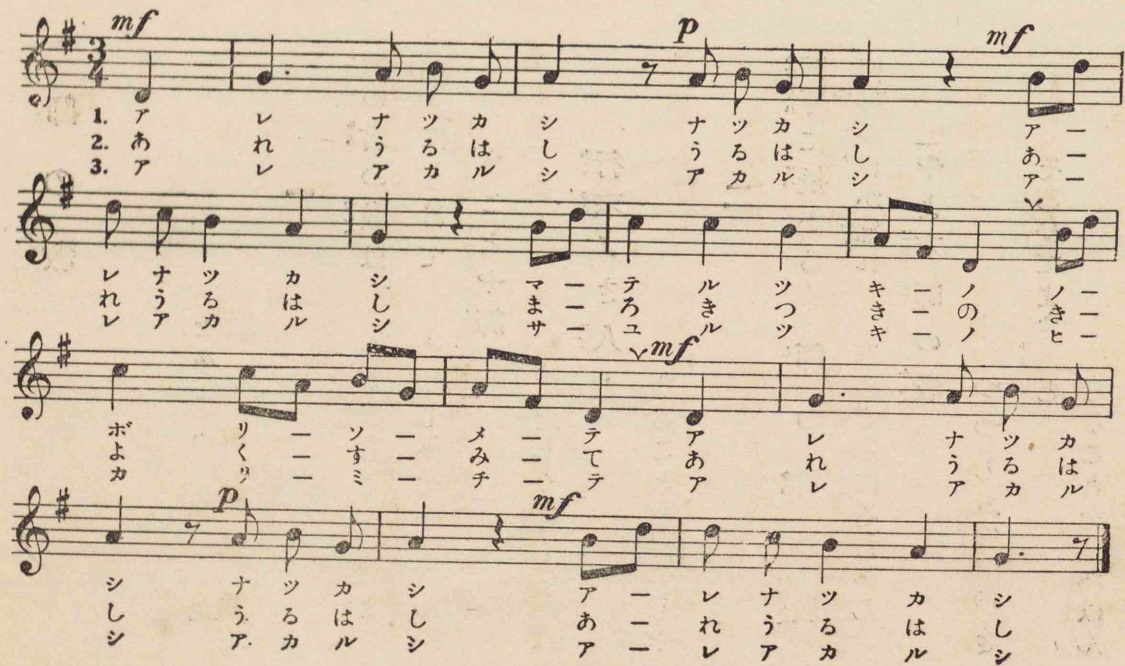
やよ友師の教

つつしみ守りゆき

そろひてよき人と

なることをちかはん

月



1. ア レ ナ ツ カ シ ナ ツ カ シ ア
 2. あ れ り う る は し
 3. ア レ ナ ツ カ シ マ テ ア レ ナ ツ カ シ
 ホ リ ソ メ メ テ ア レ ナ ツ カ シ
 シ ナ ツ カ シ ア レ ナ ツ カ シ シ

月

あれなつかし なつかし あれなつかし
 待てる月の 昇りそめて
 あれなつかし なつかし あれなつかし
 二
 あれうるはし うるはし あれうるはし
 まろき月の 清くすみて
 あれうるはし うるはし あれうるはし
 三
 あれあかるし あかるし あれあかるし
 さゆる月の 光りみちて
 あれあかるし あかるし あれあかるし

傳田治朗

友垣うれし

p

1. ト モト - ワ レ ト ハ カ ゲト - カ タ - チヅ
 2. ミ もの - な さ けに わ れは - な ぐ - さむ

ヨ キヲ - エ ラ ビテ マ ジハ - レ ヤ
 む ねを - ひ ら きて ま じは - れ や

mf

ウ レ ヒヲ - ト モ ニ シ ヨ ロ コ ビ - ワ ケ ア ヒ コ
 は な さ く - あ し た も つ き て る - ゆ ふ べ も む

cresc. *dim.*

コ ロ ラ ヘ ダ テ ヌ ト モ - ガ キ - ウ レ シ D.C.
 つ み て た の し む ミ も - が き - う れ し

友垣うれし

文學士 藤田健治

一

友と我とは 影と形ぞ
 よきをえらびて 交れや
 うれひを共にし よろこび分けあひ
 心をへだてぬ 友垣うれし
 友と我とは 影と形ぞ
 よきをえらびて 交れや

二

友のなさけに 我はなぐさむ
 胸をひらきて 交れや
 花咲くあしたも 月照るゆふべも
 むつみてたのしむ 友垣うれし
 友のなさけに 我はなぐさむ
 胸をひらきて 交れや

入營を送る



1. キ ミ ノ ミ タ テ ヒ ト ノ ホ マ レ イ サ
 2. く に の ま も り た み の つ み め い さ



ミ ユ ケ ヤ ア ニ ウ ヘ ヨ ワ ガ ヤ ノ コ ト ハ コ コ
 み ゆ け や あ に う ヘ よ あ つ さ に ま け ず さ む



ロ ニ カ ケ ズ ホ ネ ミ ラ ク タ キ ハ タ ラ キ ツ ク セ
 さ に お ぢ ず た ふ ミ キ さ だ め は た し て か へ れ

入營を送る

文學士 守隨 憲治

君の御盾
 いさみ行けや

人のほまれ
 兄上よ

我が家の事は
 骨身をくだき
 心にかへず
 はたらきつくせ

君の御盾
 いさみ行けや

人のほまれ
 兄上よ

國のまもり
 いさみ行けや

民のつとめ
 兄上よ

暑さにまけず
 尊きさだめ
 寒さにおぢず
 はたしてかへれ

國のまもり
 いさみ行けや

民のつとめ
 兄上よ

馬上の少年

mf

1. リ リ シキバジウノ セヤ ネンヤ ヒツ メ カロク ノリ
 2. を を しきせうねん きしよや むち を あげて はせ

ユ ク リ リ シキバジウノ セヤ ネンヤ ダイ
 ゆ く を を しきせうねん きしよや ちう

チ ケサセ カケ ユク ミルニワレモイサ
 を こばせ かけ ゆく みるにわれもいさ

ミ タ チ トモニ タヅナ トリ タルオモヒ
 み た ち とも に たづな たり たるおもひ

馬上の少年

文學士 堀江時三

一
 凜凜しき馬上の少年や

蹄かろく乗り行く

凜凜しき馬上の少年や

大地蹴させ駈け行く

(31)

二
 共に手綱

見るに我も
 いさみたち
 取りたるおもひ

英雄しき少年騎士よや

鞭をあげて馳せ行く

英雄しき少年騎士よや

宙を飛ばせ駈けゆく

見るに我も
 共に手綱

いさみたち
 取りたるおもひ

わが大君

1. ワレヲア マ ネク タカラト メ デ マス
 2. くにたみ あま ねく ちちも あふ げる

ワガオホ キミコソ タ フトケレ
 わがおほ きみこそ た ふきけれ

カシコキ ミカドノ イヤマス サカエヲ ヨミ
 いやまし さか ゆる おほみよ まも りて

ロ コビ ツ ク シテ コ ト ホ ガ ン
 は にぞ め ぐ みに う る ほ は ん

わが大君

傳田治朗

我等を

あまねく

たからとめです

わが大君こそ

たふとけれ

かしこきみかどの

よろこびつくして

いやすさかえを

ことほが

ん

二

國民

あまねく

父ともあふげる

わが大君こそ

たふとけれ

いやすさかゆる

大御代まもりて

とはにぞめぐみに

うるほは

ん

今日も暮れゆく

mf

1. カゲル ヒカゲノ アトヲ オヒツツ
 2. やまを はやしを かくねむらせ

ケフノ ヒトヒモ イヨヨ クレユク
 はやも ゆふや み ちかく せまりぬ

f

ナゴリ ツキネド シバシ ワカレテ
 こころ しづかに シもに やすらひ

mf *cresc.* *f*

アスハ マタコソ イザ サラ バイザ
 あすは またこそ いざ けふのひよ

今日も暮れゆく

傳田治朗

かげる日影の
 一

今日の一日も
 いよよ暮れゆく

なごりつきねど
 しばしわかれて

明日はまたこそ
 いざさらばいざ

山を林を
 二

はやもゆふやみ
 かくねむらせ

こころ静に
 近くせまりぬ

明日はまたこそ
 ともにやすらひ

いざ今日の日よ

我は男の子

f

1. ワレハヲノコウミヲモヤマヲモ
 われはをのこいかなるうきめも

ワレハヲノコナニオソレン
 われはをのこなにおそれん

mf

ワレニキタヘシツヨキカラダ
 われにきたへしつよきからだ

ワレニキタヘシコノココロアリ
 われにきたへしこのころあり

f

ススミ ススミ シシテ ヤムマデ
 つもれ つもれ なほも うきこ

ヒラキ ユカン ヲガ ミチヲバ ラララ
 ためし みばや わが ちから を ららら

ラ - ラララ ラ - ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
 ら - ららら ら - ららら ららら ららら ららら ららら

ラ - ラララ ラ - ラララ ラ ララ ララ
 ら - ららら ら - ららら ら らら らら

我は男の子

傳田治朗

—

我は男の子 海をも山をも

我は男の子 何おそれん

我にきたへし 強きからだ

我にきたへし 此の心あり

すすみすすみ 死してやむまで

ひらきゆかん わが道をば

ラララララ……………

二

我は男の子 如何なる憂目も

我は男の子 なにおそれん

われにきたへし 強きからだ

われにきたへし 此の心あり

つもれつもれ なほもうきこと

ためしみばや わが力を

ラララララ……………

親の恵

mf

1. フ オ ヤ ハ ツ ネ ニ オ モ ヒ ヲ ツ ク シ
 2. ふ た お や は つ ね に こ こ ろ を く だ き

ス コ ヤ カ ニ ワ レ ラ ハ グ ク ミ タ マ
 ゆ く す 涙 の さ ち を は か ら せ た ま ふ

p *cresc.*

ウ ミ ヤ マ ノ メ グ ミ ア ケ ク レ オ モ ヒ
 あ り が た き め ぐ み わ す れ ず お も ひ

mf

ミ コ コ ロ ヲ ヤ ス メ ナ グ サ メ マ ツ ラ
 お こ た ら ず ま な び よ き ひ ん ぎ な ん

親の恵

文學士 藤田健治

ふたおやはつねに
 すこやかにわれを
 思をつくし

海山のめぐみ
 あげくれおもひ

み心をやすめ
 なくさめまつらん

二

ふたおやはつねに
 行末のさちを
 心をください

ありがたきめぐみ
 わすれずおもひ

怠らずまなび
 善人とならん

いざ起て

1. セカイヲミヨクニタミ ソコクハゲニイカニゾ
 2. そこくをみよくにたみ せかいはげにいかにぞ

イザタテヨ モロトモニ イザタテヨ フルヒテ
 いざたてよ もろもに いざたてよ ふるひて

mf ヒルキ ナキミクニートナスハ ソモタレゾーヤ
 ぜんミ あるみくにをになふ そはたれぞーや

ff ワーレニアリ トーキハイマゾイザタテ
 われらにあり わかきたみよいざたて

いざ起て

世界を見よ國民

いざ起てよ 諸共に

比類なき國家と

我等にあり

祖國を見よ國民

いざ起てよ 諸共に

前途ある國家を

我等にあり

祖國は實に如何にぞ

いざ起てよ 奮ひて

なすはそも誰れぞや

時は今ぞ いざ起て

世界は實に如何にぞ

いざ起てよ 奮ひて

になふそは誰れぞや

若き民よ いざ起て

傳田治朗

春のよろこび

1. ハ ル メ キ ソ メ タ ル ノ ヤ マ ラ ミ ワ タ セ
 2. は る た け な は な る の や ま に い で た て

バ ユ キ は マ ノ ミ ド リ ニ ナ コ ガ コ メ モ ア の
 タ ラ シ ヤ シ ラ ク モ ウ ツ セ ル ノ ナ カ ノ ミ
 シ ヲ ヲ カ ガ ヤ ク わ か ば の い

ヅ ヲ ウ キ カ ケ ベ キ ル メ タ カ ノ ビ カ ウ ゲ タ サ ヘ シ
 ズ カ ニ カ ゲ サ ヘ シ ズ カ ニ

春のよろこび

文學士 久松 潜一

春めきそめたる 野山を見渡せば
 雪間の緑に 眺望も新しや

白雲うつせる野中の水
 うかべるめだかの影さへしづかに

影さへしづかに

春 闌なる 野山に出で立てば
 和 ぐ 光に 心ものどけしや

見よ見よかがやく 若葉の色
 聞け聞け喜うたへる色鳥

うたへる色鳥

音楽通論

(後篇)

一八 速度標語

楽曲の速度の緩急を示す言葉を速度標語といひ、速度標語には普通イタリヤ語が用ひられる。速度標語の主なるものを、遅い速度を示すものから速い速度を示すものへの順に列記すると、次のやうである。

最も遅い速度。

Lentoレント

Largoラゴ

遅い速度。

Adagioアダージョ

Larghettoラゲット (ラゴほど遅くない)

(1)

少し遅い速度。(並歩の速さ)

Andanteアンダンテ

普通速度。

Moderatoモデラート

Andantinoアンダンティーノ (アンダンテほど遅くない)

少し速い速度。

Allegrettoアルレグレット (アルLEGROほど速くない)

Allegro moderatoアルLEGRO・モデラート

速い速度。

AllegroアルLEGRO

Animatoアニマート

最も速い速度。

Prestoプレスト

(2)

Prestissimo プレスティッシモ (プレストの更に速いもの)

楽曲の途中で一部分の速度を変更する時に用ひられる標語がある。

漸次速度を緩めるもの。

ritardando リターダンド

rit. 或は *ritard.* は略語。

rallentando ラルレンタンド

rall. は略語。

漸次速度を緩め且つ音を弱くするもの。

calando カランド

morendo モレンド

smorzando スモルツァンド

急に速度を遅くするもの。

ritenuto リテヌート

漸次速度を速めるもの。

accelerando アッチェレランド

accel. は略語。

stringendo ストリンジェンド

string. は略語。

奏者の任意にするもの。

ad libitum アド・リビトゥム (ラテン語である)

ad lib. は略語。

一時変更された速度を再び元の速度にかへすことを示すもの。

a tempo ア・テンポ

次の標語は他の標語に附加へて其の意味を限定するために用ひられる。

Pocoポ - コ 僅に。
Foco a pocoポ - コ・ア・ポ - コ 次第に。
Menoメノ もつと僅に。
Piuピュー 更に多く。
Assaiアッサイ 十分に。
Non troppoノン・トロッポ 餘分でなく。
ma non troppoマ・ノン・トロッポ しかし餘分でなく。

一九 發想標語と記號

樂曲の持つてゐる心持ちや感じを示すために發想標語や記號が使はれる。速度標語のやうにイタリヤ語である。

音の強弱の程度を示す標語を列記すると、次のやうである。

^{略語}
pp *Pianissimo*ピアニッシィモ 最も弱く。(ピアノより弱く)
p *Piano*ピアノ 弱く。

mp *mezzo Piano*メヅォ・ピアノ 稍弱く。(ピアノより強く)
mf *mezzo forte*メヅォ・フォルテ 稍強く。(フォルテより弱く)
f *forte*フォルテ 強く。
ff *fortissimo*フォルティッシィモ 最も強く。(フォルテより強く)

強弱の標語に他の言葉を附加へてその意味を限定すると、次のやうになる。

poco pianoポ - コ・ピアノ 少し弱く。

poco forteポ - コ・フォルテ 少し強く。

meno pianoメノ・ピアノ さほど弱くなく。

piu forteピュー・フォルテ 一層強く。

樂曲の一部を次第に強く或は弱くするには、次の標語又は記號を用ひる。

次第に強くするもの。

略語 *cresc.* *crescend* クレッシェンド

rinf. *rinforzando* リンフォルツァンド

次第に弱くするもの。

decresc. *decrecendo* デクレッシェンド

dim. *diminuendo* ディミヌエンド

或一つの音を特に強くするには、その音符に次の記號又は標語を記して之を示す。

∧ > 又は *sf* は *sforzando* スフォルツァンドの略。

樂曲の心持ちを示す標語の主なるものを次に挙げよう。

Agitato アジタート 急勢に。

Animato アニマート 生氣を以て。

Con moto コン・モート 上と同じ意。

Con brio コン・ブリオ 生生と。

Commodo コムモード 穩かに。

Dolce ドルチェ 優美に。

Espressivo エスプレッシーヴォ 表情的に。

Con fuoco コン・フォーコ 熱烈に。

Furioso フリオール 怒るやうに。

Grave グラーヴェ 重重しげに。

Grazioso グラツィオーゾ 優雅に。

Leggiero レッジェーロ 輕快に。

Maestoso マエストーゾ 莊嚴に。

Marciale マルチアーレ マーチ風に。

Scherzando スケルツァンド 輕快に。

- Semplice*セムプリチェ単純に。
Sostenutoソステヌート音の長さを保つて。
Tranquelloトランクィーロ静穏に。
Vigorosoヴィゴロージョ力強く。
Vivaceヴィヴァーチェ快速に。

或音を特に短く奏唱する場合には、音符の上又は下に圓點若くは垂點を記す。



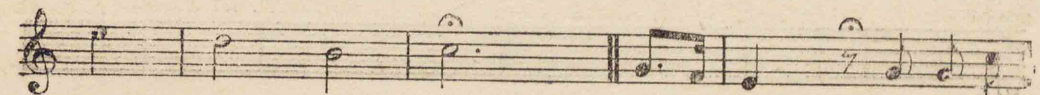
音を特に滑かにつなげて奏唱する場合には、弧線が用ひられる。そして高さの違つた二個若しくはそれ以上の音符をつなぐ弧線

を連結(スラー)といひ、高さの同じ二個の音符をつなぐ弧線を連合(タイ)といふ。



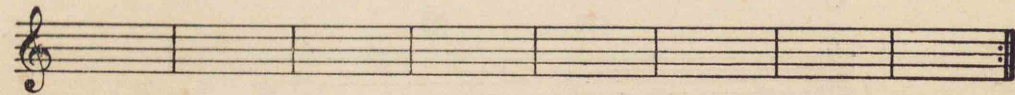
注意 連結の代りに *legato* (レガート)の文字を記すこともある。

音符又は休符の上又は下に、停留記號を記された場合には、其の價值以上に適當にその音や休みを伸ばすのである。伸ばす長さはその場合によつて一樣でない。



二〇 略 記 法

楽曲の或部分に同一の小節を繰返す場合にこれを簡略に記す方法があつて、これを略記法といふ。普通に使はれるもの七種を次に示さう。



全部を繰返す。



前半部を繰返し、後半分に進んで終る。

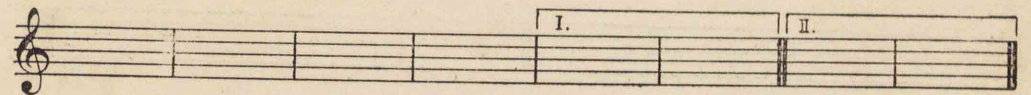


(11)

始めから終りに進み、後半部を繰返して終る。



前半部を繰返して後半部に進み、後半部を繰返して終る。



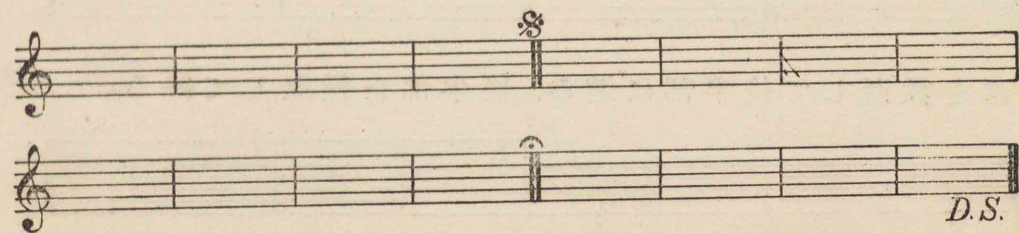
始めから I の終りに進んで始めへかへり、二回目には I と記した小節を省いて、II へ進んで終る。



始めから終りへ進んで始めへかへり、*Fine* と記した處で終る。

(12)

D. C. は *Da capo* (ダ・カーポ) の略で「始めから」の意、*Fine* (フィネ) は「終り」の意である。



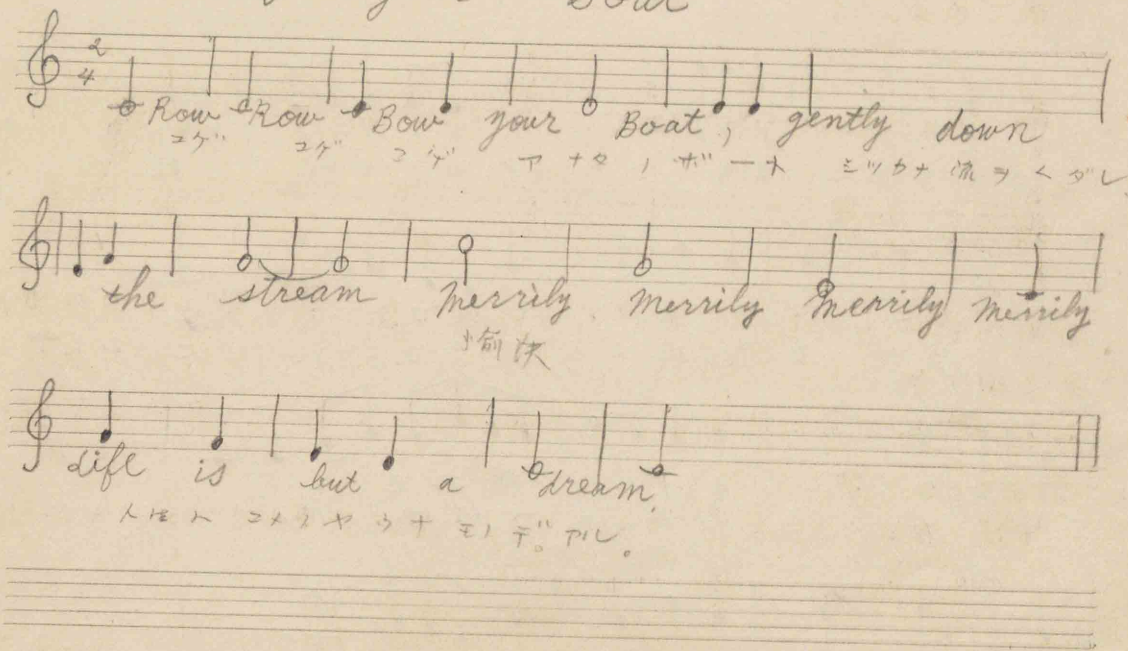
始めから終りへ進んで ✱ の記号のある處へかへり、停留記号のある處で終る。D. S. は *Dal segno* (ダル・セーニョ) の略で「記号から」の意である。停留記号の代りに *Fine* と書くこともあり、又停留記号に添へて *Fine* と書くこともある。

注意 音符の略記法もあるけれども、それは器楽曲の場合のみのものであるから、ここでは略する。

(13)

井
キ
ー
フ
ド
フ
ラ
ット

Row your Boat



旅 愁

ハ調

1. ケユク アキノヨ タビノリテノ ワキヒキニキ
 2. まどうつ あらしに やめもやぶれ は

オモヒニ ヒトリナ ヤクコヒシ ヤフルサト
 うけさか 花たにこ ころまよう。 こゝろやぶ

ナツカシ 44ハハ 悪オモヒ
 うさな つかしち ちはは やめがに うか

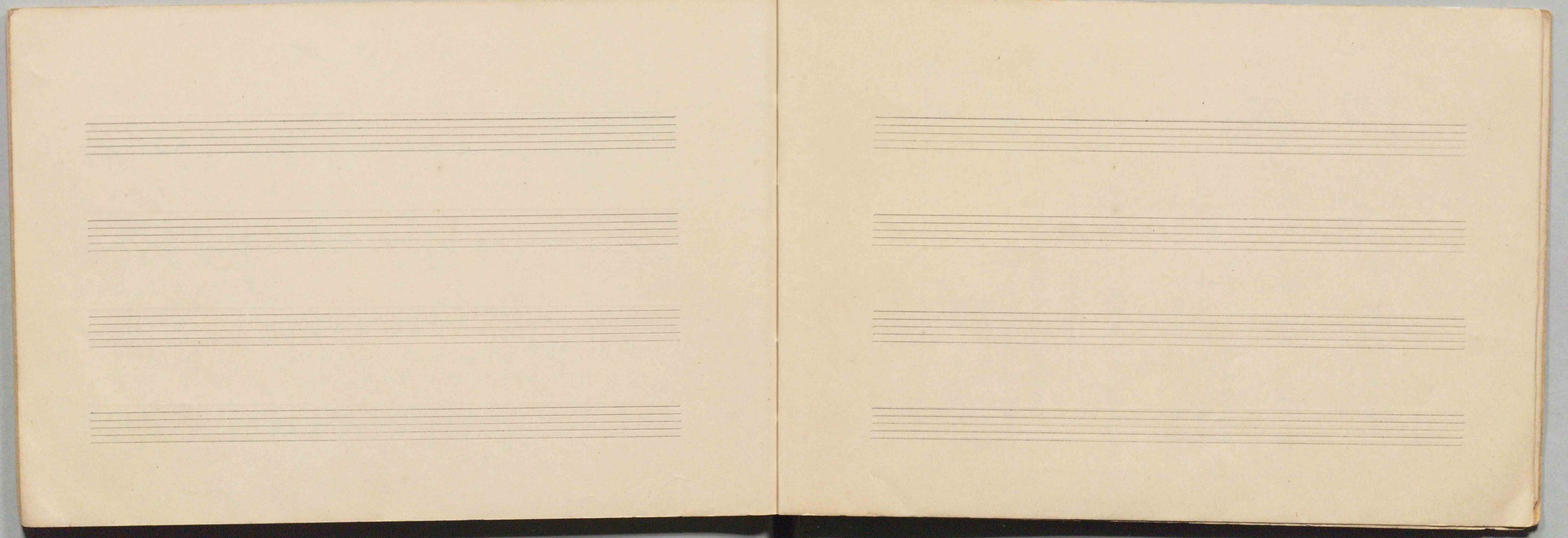
イダサカガハ サトノイヘガ
 うはもりのこす島

英 国 国 歌

1. god save our gra-cious King, Long live our noble King

God save the King. Sent him Victorious Happy and glorious,

Long to reign



昭和三年十月二十七日印刷
昭和三年十月三十日發行
昭和四年十月十五日修正再版印刷
昭和四年十月十八日修正再版發行

昭和五年度
臨時定價 金參拾壹錢
定價 金拾九錢



編者 福井直秋

發行者

東京市芝區松本町四拾四番地
共益商社書店

代表者 白井保男

印刷所

共益商社書店印刷部

東京市芝區松本町四拾四番地

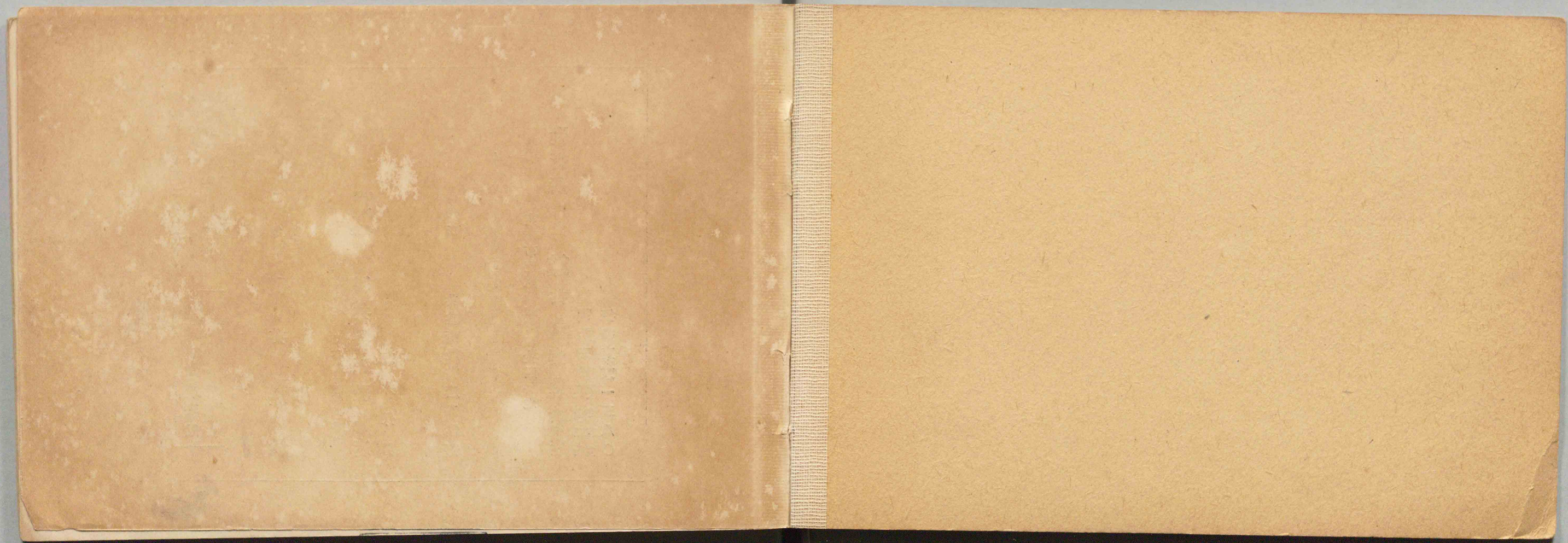
發行所

共益商社書店

電話 三田四〇五五

振替東京一五八〇

1980.1.2



二〇
高澤幸男

二〇
高澤

Takazawa

広島大学図書

0130449389

